

## 1. 知事の政治姿勢について

### (3)-① 私立大学支援

知事は、次代を担う『人財』の育成について触れられています。

私は、今から社会人になっていく高校生や大学生に対する支援が必要であると考えます。そこで、今回は地元の大学での取り組みを紹介します。先日、

「文理芸融合のグローバル総合大学へ」と 8 分野で、数値目標を明確化し、教員と学生が一体となり取り組んでいるという九州産業大学を訪問しました。説明を受けた際に特に関心を寄せたことがありました。九州産業大学は文系・理系・芸術のコラボによる地域課題等への取り組みを実践。また昨年より、グローバル人材の育成のためのグローバル・リーダーシップ・プログラム。これには、九州・福岡県で唯一の国連機関であるハビタットと連携して、学生に、自ら何らかの形で SDGs を推進できるようなグローバル人材を育成するプログラムです。



簡単に紹介しますと、全学部学生が対象で、1年次から2年次前期までが基礎科目。2年次前期終了後に選考試験実施。2年次後期から国際的教養を身につけ、グローバル化した世界が抱える様々な課題について探求する。その特別講義を国連ハビタット本部の職員が講師として担当する。

3年次で、海外インターシップを体験して、国際社会で協働するための行動力・実践力を身につける。4年次で各自の研究テーマを発表し、卒業時にGLP認定書交付。「このプログラム課程を受けた学生が、福岡県内のアジアをはじめ世界の各国との関わりを担う人財として活躍していただきたい」と津上賢治理事長は熱く語っておられました。

国連ハビタットが福岡市に設置されはや24年がたちますが、大学との連携は福岡県で初めてであります。さて、大学の支援は、国の役割かもしれませんが、本県として、次代を担う人財の育成として産官学連携でしっかり後押しをすべきと思いますが、知事の考えをお聞かせください。

## 【服部知事の答弁】

### 九州産業大学の取り組みに対する県の後押しについて

九州産業大学は、「産学一如」(さんがくいちによ)の理想のもと、建学以来 60 年にわたり、産業界の期待に応える人材の育成に尽力され、多数の卒業生が産業界や芸術など様々な分野で活躍しています。

また、国連ハビタット福岡本部と連携した「グローバル・リーダーシップ・プログラム」や福岡女子大学との連携授業の実施により、国内外で活躍する人材の育成に取り組んでいます。

県では、工業技術センター生物食品研究所が同大学と連携し、企業に対し機能性表示食品の製造方法を助言するなど、商品化を支援しています。

また、昨年から、青少年育成担当の局長を、同大学の求めに応じて外部評価委員として派遣し、大学の教育研究、人材育成の取り組みについて意見を述べています。

県としては、芸術に関する学科を持つ九州産業大学の特色を活かした、若手芸術家の育成などの人材育成の連携についても検討していきたいと考えています。